

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 商業 科目 商業選択B（原価計算）

教科： 商業 科目： 商業選択B（原価計算） 単位数： 3 単位
対象学年組：第 2 学年 組～ 組
教科担当者：（ 1・2組：鈴木（3・4組：加藤 圭（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 原価計算（実教出版） ）
教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 商業選択B（原価計算） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1編原価計算 第1章原価と原価計算 【知識及び技能】 ・商品売買業と製造業の簿記について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原価と原価計算の意味を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・製造原価と総原価の意味を理解させる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本章の学習に当たって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。	○	○	○	3
	B 単元 第2章原価計算のあらまし 【知識及び技能】 ・原価要素の性格と原価要素の分類について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原価計算がどのような目的をもって行われるかを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・原価要素の性格とその分類、原価要素を集計する過程における原価計算表の役割について、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・製造直接費と製造間接費の区別は、なぜ必要か、製造指図書番号の役割は何か、製造活動を記録するためには、どのような勘定が必要かなのか。	○	○	○	6
	C 単元 第3章工業簿記－製造業における簿記－ 【知識及び技能】 ・工業簿記の特色について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・材料勘定・労務費勘定・経費勘定の記帳方法と原価計算表への記入に	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・原価計算と工業簿記の関連、原価計算表、仕訳、勘定記入等について、その基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	7
	D 単元 第2編原価の費目別計算 第4章材料費の計算 【知識及び技能】 ・材料費の意味と、その分類の内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・材料の消費の記帳を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・材料費の分類、材料費の計算および仕訳や勘定記入など材料費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、予定価格を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	7
	E 単元 第5章労務費の計算 第6章経費の計算 【知識及び技能】 ・労務費の意味とその分類の内容を理解させる。 ・経費の意味とその分類を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・予定賃率による消費賃金の計算と記帳を理解させる。 ・賃金以外の労務費には、どのようなものがあるかを理解させる。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・労務費の分類、労務費の計算および仕訳や勘定記入など労務費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。 ・経費の分類、経費の計算および仕訳や勘定記入など経費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、予定賃率を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	7
				○	○	○	1
	第3編原価の部門別計算と製品別計算 第7章個別原価計算 【知識及び技能】 ・単純個別原価計算の手続きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時間法（直接作業時間法・機械運転時間法）による配賦を理解させる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、製造間接費は予定配賦するのかについて考え、具体的に表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	8
	第3編原価の部門別計算と製品別計算 第7章個別原価計算 【知識及び技能】 ・単純個別原価計算の手続きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時間法（直接作業時間法・機械運転時間法）価額法（直接材料費法・	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、製造間接費は予定配賦するのかについて考え、具体的に表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	8
	第8章部門別個別原価計算 【知識及び技能】 ・前章で学習した部門別計算を行わない場合の製造間接費の配賦では、製造間接費の精密な配賦が行えないことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・部門別計算が原価管理にも有効な	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・部門別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができる。	○	○	○	12
2							

2 学 期	第9章総合原価計算 【知識及び技能】 ・個別原価計算を採用する製造業と、総合原価計算を採用する製造業の生産形態の違いを確認させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・総合原価計算は、製品種類や生産形態の違いによって、3種類に分け定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・個別原価計算と総合原価計算はどう違うのか、等価係数とは何かについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	8
	第10章工程別総合原価計算 【知識及び技能】 ・工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・工程別総合原価計算の各段階の手続きが、どのように各勘定に反映されているかを理解させる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・工程別創業原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・なぜ、工程別計算を行うのかについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	第11章総合原価計算における減損・仕損じなどの処理 【知識及び技能】 ・減損の意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・副産物・作業くずが発生した場合の記帳方法について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法について理解し、月末仕掛品原価の計算ができる。また、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・総合原価計算における減損・仕損じなどはど	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第4編製品の完成・販売と決算 第12章製品の完成と販売 第13章決算と本社・工場間の取引 【知識及び技能】 製品の完成・販売に伴う手続きと記帳を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造間接費を実際配賦している羽	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・製品の完成と販売および決算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・製造業の決算の特徴について理解している。また、本社工場間の取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・個別原価計算と総合原価計算の計算体系の違	○	○	○	6
	第5編標準原価計算の基礎 第14・15章標準原価計算 【知識及び技能】 ・原価管理のあらましと、標準原価計算の必要性を理解させる。 ・標準原価計算における実際原価の計算の必要性を確認させる。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・原価管理を行う意義と標準原価計算の特色について理解し、標準原価の基礎的・基本的な知識と計算技術を身に付けている。 ・原価差異の計算技術を身に付けるとともに、それぞれの差異の意味について理解している。また、標準原価計算における記帳方法を身に付けている。	○	○	○	9
	第6編直接原価計算の基礎 第16・17章直接原価計算 【知識及び技能】 ・利益計画のあらましと、直接原価計算の必要性を理解させる。 ・短期利益計画のためのCVP分析を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・利益計画を行う意義と直接原価計算の特色について理解し、直接原価計算による損益計算書の基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・CVP分析や損益分岐点売上高などの計算について、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・全部原価計算の限界や、直接原価計算の利益	○	○	○	7
							合計 105